



第 124 号  
 発行者  
 公益社団法人  
 広島市身体障害者  
 福祉団体連合会

第六十四回政令指定都市身体障害者団体連絡協議会並びに  
 第五十一回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会を広島市で開催

第六十四回政令指定都市身体障害者団体連絡協議会並びに第五十一回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会を九月二日(土)、三日(日)の両日、広島市のホテルグランヴィア広島及びミスズボウルを会場に開催しました。

令和元年に札幌市で開催されて以来、連絡協議会は、書面方式で開催されていましたが、十三の政令指定都市から百二十三名が参加され四年ぶりに、対面方式により開催することができました。

開会式は、向井助三広島市身体障害者福祉団体連合会会長、浅香博文協議会会長の挨拶に続いて、来賓として、松井一實広島市長(代理)、前健一広島市副市長、母谷龍典広島市議会議長から、歓迎と激励の言葉を頂戴し開会式を終了しました。



政令市指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会開会式

引き続き行った全体会議では、千葉市が書面会議により開催した第六十三回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会の決議事項についての処理報告を石田靖行事務局長から受け、続いて各政令指定都市から提

案された五十三件の議案が障害別の六部会(団体長部会、肢体障害者部会、視覚障害者部会、ろう者部会、難聴障害者部会、内部障害者部会)に付託され、各部会において熱心に審議されました。

広島市からは、次の議題を提出しました。

- ・ 駐車禁止除外指定車標章の交付対象を上肢三級までに見直すよう要望する。

- ・ 公的施設で難聴者が常時五十人以上集まることが想定される施設ではプロジェクター、スクリーンの恒久的設置の義務化を要望する。

- ・ 排泄管理用具の基準額を実態にあった給付基準額に改定するよう要望する。

各部会終了後に行った全体会議では、各部会での審議経過と結果報告を行い、審議された議題をすべて採択、決議するとともに、次年度開催地を大阪市とすることを議決しました。

各部会に提案された要望議題は、主管市である広島市がとりまとめを行い、日身連を通じて、国及び関係機関に要望していくことになりました。



部会で提案議題を審議

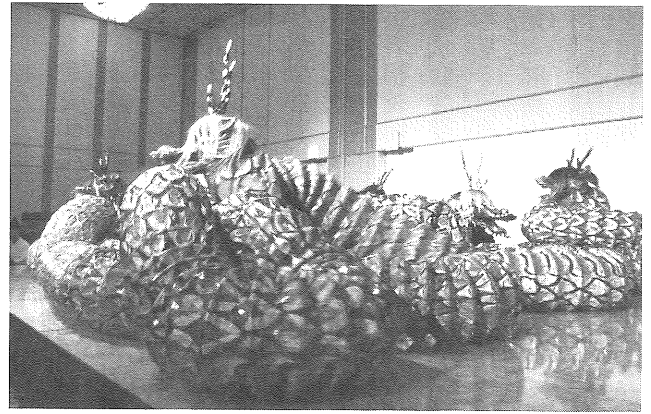
午後六時からは、連絡協議会参加者及び親善スポーツ大会参加者百六十一名が参加して、第五十一回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会の開会式と交流会を開催しました。

開会式では、向井助三広島市身体障害者福祉団体連合会会長の挨拶の後、広島市健康福祉局岩本和恵障害福祉部長(代理)、深崎紀子障害福祉課長)のお祝いの言葉をいただき、前回(令和元年度)優勝した札幌市チームから優勝旗及び優勝杯の返還

翌日、ミスズボウルで行った競技では、連絡協議会の浅香会長の挨拶の後、広島市チームの後藤盛勝選手の力強い選手宣誓、ミスズガーデン株式会社元廣啓典総合支配人の競技上の注意、各政令指定都市の代表による始球式を行い、七政令指定都市チーム総勢五十四名が参加して、四ゲームトータルで熱戦を繰り広げ

が行われました。

また、交流会では、アトラクションとして桑田天使神楽団の皆さんによる「八岐大蛇」の公演を行い、政令指定都市間の交流と親睦を深めることができました。



桑田天使神楽団による「八岐大蛇」の舞



親善スポーツ大会開会式

ました。  
優勝は、三千三百五十点をあげた京都市チーム、準優勝は三千三百三十点の仙台市チーム、第三位は三千二百八十七点の福岡市チームでした。

個人戦は、ハイゲーム賞として、男子の部は、七百九十二点を挙げた福岡市チームの三苦典之選手、女子の部は、七百三十二点を挙げた神戸市チームの井上夏子選手が受賞されました。

また、敢闘賞は、神戸市チームの高野清選手、大阪市チームの橋本可奈子選手が受賞され、各都市のチームから一名の選手が優秀賞を受賞されました。広島市チームでの優秀賞は、三木豊選手が選ばれました。

**第二十四回広島市  
身体障害者ボウリング大会**

六月三日(土)にミスズボウルにおいて、本市で開催する第五十一回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会に広島市代表として出場する選手の選考会を兼ねて「第二十四回広島市身体障害者ボウリング大会」を、二十五名の参加により開催しました。

上土井理事の進行で開会となり、市身連の向井会長の挨拶に続き、上土井理事から競技上の注意事項を説明後、競技を開始しました。

参加された皆さんは、真剣な表情でレーンに向かい、ストライクやスパアが出るたびに、歓声が上がリ、ハイタッチなどで喜び合い、楽しい二ゲームがあつという間に過ぎました。

ゲーム終了後は、持ち点別に上位

入賞者に、それぞれ賞品を贈呈しました。

競技の結果、政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会のボウリング大会に出場する代表選手は、次の十名の方に決定しました。(敬称略)

(監督) 磯野 敦司

(選手)

・ 肢体障害

三木 豊 高森 誠

・ 視覚障害

吉田 孝三 池下八重子

・ 聴覚障害

後藤 盛勝 折手 良司

佐藤 浩美 春田 明子

三島 六方

・ 内部障害

松尾 弘二



### 第七十回 広島市身体障害者福祉大会

七月二十三日(日)に広島市総合福祉センターのホールに於いて、「第七十回広島市身体障害者福祉大会」を市身連加盟十二団体の代表者九十人が一堂に会して盛大に開催することができました。

大会は、三部構成で開催され、第一部の式典では、向井会長の挨拶の後、四名の方に会長表彰の贈呈を行



向井会長挨拶

い、受賞者を代表して白井利明さんが謝辞をのべられました。

続いて、来賓として松井一實広島市長(代理 岩本和恵健康福祉局障害福祉部長)、西田浩 広島市議会議長、斎藤鉄夫国土交通大臣、平口浩衆議院議員の四名の方から温かい励ましの言葉を、また、自民党総裁岸田文雄様、新谷まさよし衆議院議員から祝電をいただきました。

第二部の講演会では、広島修道大学国際コミュニケーション学部教授佐渡紀子氏による講演が行われました。

演題は、「国際平和について」で、G7広島サミットを終えての各新聞社の評価を紹介され、平和学と核抑止批判から相互不信の中でいかに安全と国際平和を導くのかという内容でお話いただきました。

第三部の議事では、議案として提出した大会宣言と決議案を満場一致で採決しました。

#### 会長表彰受賞者

##### ◎更生援護功労者

- 村上 牧雄 様 (ろうあ協会)
- 白井 利明 様 (視障協)

##### ◎模範家族

- 西山 重男 様 (安佐北区)

新居田憲男様 (安佐北区)

広島市身体障害者福祉大会での大会スローガン、大会宣言、大会決議は、次のとおりです。

#### 大会スローガン

☆みんなが共に支えあいともに生きる「共生社会」を実現しよう  
☆市身連及び加盟団体組織体制の強化を図ろう

#### 大会宣言

本日、コロナ禍を超え広島市の身体障害者の代表が一堂に会し、「第七十回広島市身体障害者福祉大会」を盛大に開催できますことは、誠に喜びにたえません。

これも平素から、市民の皆さんをはじめ関係各位の温かいご支援とご理解の賜物と心から感謝を申し上げます。

広島市身体障害者福祉団体連合会は、身体障害者の自立を促進し、社会参加と平等の基本理念に基づく福祉の推進を図り、社会の発展に寄与することを目的に活動しています。

今、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機

に策定された「ユニバーサルデザイン二〇二〇行動計画」の理念が、今後も地域に根付き、「心のバリアフリー」と「ユニバーサルデザインの街づくり」が推進され、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、みんなが共に支えあいともに生きる「共生社会」が実現されるよう、私たち自身が意識をもって関わっていくことが求められます。

また、障害のある私たち一人ひとりが、社会生活において困っていることを発信し、相互理解を深めていくことも必要です。

当連合会は、どのような環境にあっても、障害の有無によって分け隔てることなく、人権及び平等の機会が保障される共生社会の実現のために、会員との強い連携のもと、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言します。

令和五年七月二十三日

第七十回

広島市身体障害者福祉大会

大会決議(要望事項)

一 広島市障害者計画に掲げる「一虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進」に関する要望

(一) 「広島市手話言語条例」を制定してください。

(二) 広島市長の全国手話言語市区長会への入会をしてください。

二 広島市障害者計画に掲げる「二安全・安心な生活環境整備の推進」に関する要望

(一) 障害者優先駐車場については、ゆずりあい駐車場のステッカーなどを必ず掲示するように、行政の公報で広く定期的に周知していただきたい。

(二) 広島電鉄二号線電車(宮島線)の低床電車便数を最低でも十五分に一本、深夜早朝は別にして一時間に四本以上は低床にしてもらうようなダイヤ編成をぜひともお願いしたい。

(三) 次の場所にエスコートゾーンの設置をお願いしたい。

ア 本通り交差点の東西を結ぶ横断歩道の南側と北側への設置

イ 八丁堀交差点に、口の字型

に設置

(四) 総合福祉センターなどの公共施設には、誘導ブロックを設置し、介助者がいなくても視覚障害者が安心して利用できるような環境整備を行っていただきたい。

三 広島市障害者計画に掲げる「三相談支援の充実」に関する要望

(一) ろうあ協会が受託している事業を円滑に実施できるような、事務費の委託額を増額していただきたい。

(二) 障害者福祉、介護保険サービスの従事者の待遇(給与)の引き上げをお願いしたい。

(三) 身体障害者相談員は、年々減少していることから、その対策を求める。また、昨年度の確保策の検討状況を教えていただきたい。

(四) 災害時、車いす利用者などが、避難所に円滑に移動できるように、区役所や地域の役員、当事者による避難経路の点検を行い、必要な工事を行っていただきたい。

四 広島市障害者計画に掲げる「四地域生活支援の充実」に関する要望

(一) 聴覚障害者養護老人ホーム(通称・ろう老人ホーム)を設立してください。

(二) 全ての市営駐車場で「ミライロID」アプリによる減免手続きが利用できるようにしてください。

(三) 聴力損失三十dBの難聴者まで障害者手帳を認め、公的な障害者福祉の恩恵を享受できるようにしてほしい。

(四) 人口内耳の体外機は、十年で劣化して、新型の体外機に買い換える必要があるため、その公的支援をお願いしたい。

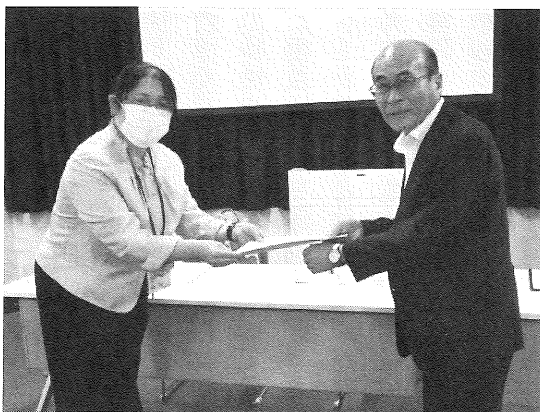
(五) 補装具や日常生活用具の基準額(費用・補助額負担)を商品価格に見合う基準額にしていきたい。

福祉大会決議事項と  
令和六年度予算措置について  
の「要望の会」開催

九月六日に広島市総合福祉センターに於いて、第七十回広島市身体障害者福祉大会の決議事項と令和六年度の予算措置についての「要望の会」を開催しました。

広島市側からは、岩本障害福祉部長、深崎障害福祉課長他一名、市身連からは、向井会長、中神副会長、岡井副会長、内副会長をはじめ、理事・監事など十四名と事務局長が出席しました。

要望事項については、出席者から項目毎に、趣旨や事例を交えながら



岩本障害福祉部長に要望書を手渡す向井会長

説明を行い、予算措置については、会長が要望を読み上げて実現されるよう、市当局へ要望しました。

〈令和六年度 予算措置要望事項〉

一 身体障害者の自立と社会参加を推進する公益社団法人広島市身体障害者福祉団体連合会(以下「市身連」という。)の活動費の確保にご高配をいただきたい。

二 市身連に委託されている身体障害者社会参加促進事業費については、現状以上で予算を措置していただきたい。

第六十八回日本身体障害者福祉大会わかやま大会

第六十八回日本身体障害者福祉大会わかやま大会が六月十六日から二十二日の間、YouTubeによる録画配信方式で開催されました。

大会は、大会宣言の後、日本で初めて視覚障害者として司法試験に合格された、野村茂樹<sup>のむらしげき</sup>弁護士により「障害者差別解消法を考える」と題した講演が行われました。

式典では、長きにわたり地域において障害者福祉の向上に貢献してこ

られた五十二名の方が日身連会長表彰を授与され、広島市身体障害者福祉団体連合会からは、西区の生口敏彦<sup>いぐちとしひこ</sup>さんが紹介されました。生口様、おめでとうございます。

議事では、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会の「令和四年度事業報告」及び「令和五年度事業計画」の確認とわかやま大会の「大会宣言」及び「大会決議」を採択し、閉会しました。

わかやま大会の大会スローガン、大会宣言、大会決議、大会決議は、次のとおりです。

大会スローガン

○心のバリアフリーを地域社会に根付かせよう

○日身連及び加盟団体の組織強化を図ろう

大会宣言

コロナ禍を越え、全国の仲間とともに、第六十八回日本身体障害者福祉大会を開催することができた。

日本身体障害者団体連合会は、障害者権利条約を踏まえ、障害当事者の参画のもと、障害者施策の促進と障害者特性に配慮した社会環境の整

備が図られるよう、加盟団体と強く連携し、全力で活動してきた。

また、障害者が孤独・孤立に陥らないためにも障害及び障害者に対する国民的理解を根づかせるべく、私たちが主体となって取り組んでいかなければならない。

そして、障害のある私たち一人ひとりが発信者となり、社会生活において、困っていること、改善解消を必要とすることを伝え、相互理解を深めていかなければならない。

さらに、国連障害者権利委員会の総括所見に対する国の今後の対応について注視していくとともに、その実現にむけ障害者関係団体と連携して取り組んでいく。

日本身体障害者団体連合会に集結する私たちは、障害によって分け隔てられることなく、誰もが安心安全に暮らせる地域共生社会の実現を目指して、一致団結し、行動することを誓い、ここに宣言する。

令和五年六月十六日  
第六十八回日本身体障害者福祉大会わかやま大会

大会決議

一、日身連及び加盟団体連携のもと、組織体制の強化を図ろう

一、障害者当事者参画のもと、障害関係施策を促進させよう

一、国連の総括所見を踏まえた地域共生社会の実現に取り組もう

一、改正障害者差別解消法の理解啓発の促進を図ろう

一、身体障害者相談員の活動強化を図ろう

なお、令和六年度の日本身体障害者福祉大会は、令和六年五月二十二日(水)に石川県金沢市で開催予定です。



### 特別全国障害者スポーツ大会 広島市選手団が決定

特別全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)は、「熱い鼓動 風は南から」をスローガンに十月二十八日から三十日までの三日間、鹿児島県内各地で開催されます。広島市から出場される代表選手は、次の方々に決定されました。選手の方々は、普段の力を出し切って頑張つて来てください。

- 〔団長〕** 安森 博幸 (敬称略順不同)  
 広島市手をつなぐ育成会 副会長
- 〔陸上〕** 角本 翔 加島 大雅  
 赤川 晶 西倉 準  
 咲愛 植田 真徳  
 俊佑 高橋 遼  
 岡本 崇 片寄 歳三
- 〔水泳〕** 佐藤 真美  
 中村 仁之 西廣 大貴  
 花本 郁也 藤田 隼人  
 中本 千穂
- 〔卓球〕** 長光 美羽 和久野寛之  
 岩谷 美空 山根 智志
- 〔フライングディスク〕**

### 各身障協だより

#### ◆広島市肢体障害者福祉協会

八月二十七日(日)東区地域福祉センターに於いて『みんなで防ごう悪徳商法』と題して、広島市消費生活出前講座講師室井孝子様をお迎えし、講演をしていただきました。



肢体協 講演会

- 〔ボッチャ〕** 山本 律子 古谷 友美
- 〔ボウリング〕** 横山 拓斗 新迫 敏弘
- 〔バレーボール(聴覚)〕** 松岡 通浩 谷川潤一郎  
 北之園大成 古川 敦也  
 岸 昊良 内藤 誠志  
 前田 初博 木村 孝成

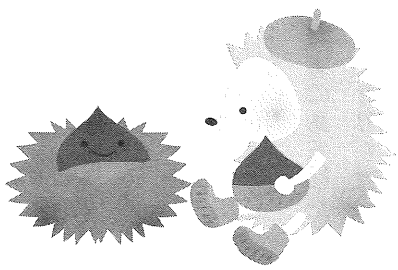
最近特に増えている悪徳商法について、訪問販売・訪問購入は絶対に家に入れない。不審な電話は出ない。又はすぐ切る。お金の話が出たら、はつきりと断るなど、寸劇を交えながら楽しく、また、クーリングオフで契約を解除できる方法などお話ししていただきました。

皆様も悪質商法に引っかからないよう気を付けましょう。

十月一日(日)西区竜王公園にて、グラウンドゴルフを行います。

十月二十一日(土)生活行動訓練として、佛通寺・福山自動車時計博物館などを見学し訓練をします。

参加ご希望の方は、お早めに肢体協まで、または市身連まで、お申し込みください。



#### ◆東区身体障害者福祉協会

東区身協では第三十八回定期総会を六月十八日に東区光町の広島市中心障害者福祉センターで開催しました。

前年度スタート時の会員総数は二十二名でしたが、今年度は十八名と、とうとう二十名を切る会員数となりました。

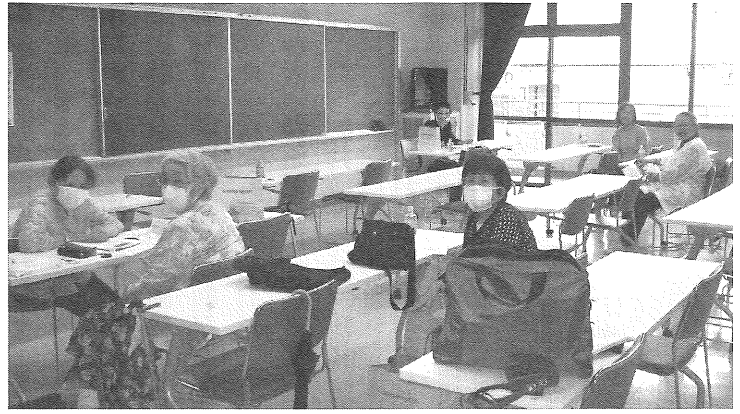
参加総数は、委任状も含めやっと過半数を超え成立はしたものの、淋しい総会となりました。

今年には総会前にコロナ禍も収束に向かっていたたにもかかわらず、参加者数が少ないのは、高齢化によるもの、民間施設の多様化で障害者の楽しみ方も変化してきたことで協会の魅力がなくなることが要因と考えられ、会員の減少は手の打ちようがないところです。

そうは言いながら、知恵を絞ることの傾向を打破しなければなりません。

人が集まる仕掛けを地道にやるしか手はありません。

- ・魅力あるスポーツ大会
- ・内容ある平和大学
- ・楽しい旅行



東区総会の様子

・会員募集に市広報を活用などを企画しないと、流れは変えられません。しかしそれは容易なことではありません。

総会後は、去年に続き今年も茶菓子を用意し持ち帰りをお願いし、散会しました。



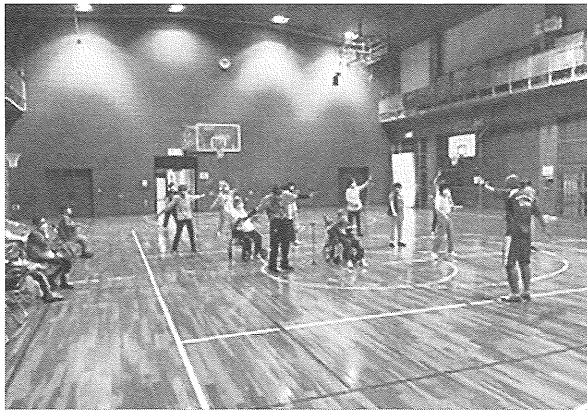
◆安佐北区身体障害者福祉協会  
連合会

第四十回安佐北区

ふれあい運動会開催

令和五年六月二十二日(木)に安佐北区スポーツセンターにて第四十回安佐北区ふれあい運動会を開催しました。

去年、コロナ禍が収束に向かい、ふれあい運動会を再び開催することを喜んだのですが、今年の第四十回ふれあい運動会開催にあたっては、始める前の準備体操に脳トレを取り入れた体操や、ヒヤリハットの法則に則り、高齢化に伴う競技種目の検



安佐北区ふれあい運動会

討を行って競技の一種目を変更しました。

また、今年の参加は二十名でした。参加人数から見ても高齢化が進んでいます。

さて、運動会が始まると競技中はどの選手も和気あいあいと無理をしない楽しいプレーをされ、観覧席(休憩席)の仲間からも応援の姿を見ることができました。それは六月十一日(日)に、ひろしまフラワーフェスティバルで見た「花の塔」鉢植えの花の花言葉は「あなたと一緒に心が和らぐ」と言われ、会員の皆様が時間を大切にされ、ペチュニアの花園で楽しんでるように見えました。

今回、開催にあたってはスポーツセンターの職員、みずきの会の皆様方のご協力、ご支援をいただいで実施できたこと厚く御礼申し上げます。

蒸し暑い季節のなか、運動会を無事に終わったこと、実施責任者としてうれしく思う次第です。また、次のふれあい運動会を楽しみにしています。

お知らせ

◆グランウンドゴルフ大会

新型コロナウイルス感染拡大防止を講じて、つぎのとおり開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

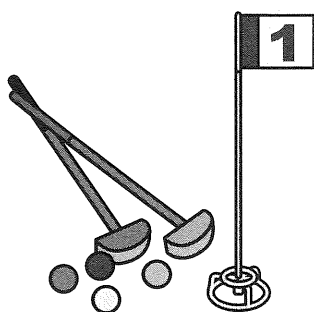
◆日時…十月二十八日(土)

午前十時～午後一時

◆会場…広島市西部埋立第五公園運動広場

◆申込…十月二十日(金)までに市身連事務局

※大会前日の十八時五〇分頃のNHKの天気予報で、大会当日の広島県南部の午前中の降水確率が四〇%以上の場合は、開催中止とします。



### ◆文化研修会

障害者の文化教養の向上を図り、自立と社会参加を促進することを目的として文化研修会(講演会)を次のとおり開催します。

今年度は、社会福祉法人慈光会上安慈光園の吉田祐樹講師に「家族が認知症になった時」と題して、お話をさせていただきます。

◆日時：十一月二十六日(日)  
午後二時～三時三十分(受付：午後一時三十分から)

◆会場：広島市総合福祉センター五階 ホール(南区松原町五番一号)

◆講師：吉田 祐樹氏(社会福祉法人慈光会 上安慈光園総務部長)

◆演題：家族が認知症になった時

◆定員：八〇名

◆申込：市身連の各団体で取りまとめています。各団体へお申し込みください。

◆申込期限：十一月十日(金)

### ◆広島市心身障害者福祉センター文化祭のご案内

◆日時：十二月三日(日)

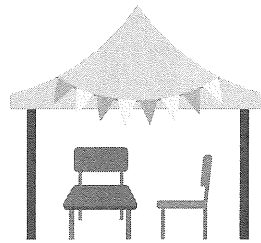
午前十時～午後四時

◆会場：広島市心身障害者福祉センター(東区光町二一―五)

◆テーマ：みんなに感謝 ありがとうの40年

◆作品展示、作品販売、ステージ発表、体験コーナー(点字、手話)、バザー、模擬店

※マスク着用を推奨しています。



### お詫び

「市身連ひろしま」第百二十三号に掲載した「第四十一回安佐南区平和大学福祉研修会」の記事で佐東地区副会長様のお名前が誤っております。

正 榎原副会長  
誤 植原副会長

ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

### 令和5年度施設見学会

## 三瓶小豆原埋没林と石見ワイナリー

#### 1 行程等

- (1) 集合日時 令和5年11月10日(金) 午前7時45分
- (2) 集合場所 広島駅北口(新幹線口)2階 ペDESTロリアンデッキ
- (3) 行程  
広島駅(8:15発) → 安佐SA → 道の駅布野 → 国民宿舎 さんべ荘(昼食)(11:30着 12:40発) → 小豆原埋没林(13:10着 13:55発) → 石見ワイナリー(14:10着 14:50発) → 道の駅北の関宿 → 広島駅(17:20着)

2 募集人員 40名程度(大型リフト付きバス2台・予定)

3 参加費 1人:3,000円(当日徴収)

4 申し込み 10月20日(水)までに各身協にお申し込みください



発行者 公益社団法人 広島市身体障害者福祉団体連合会

会長 向井 助三

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号

BIG FRONTひろしま5階

電話 (082) 2633-4524

FAX (082) 2633-9971

ホームページ <http://shishinen.com/>

編集者 情報宣伝部会

部長 上野 玲子

